

第 4 回「安全を持続的に確保するための
今後の河川管理のあり方検討小委員会」

新たな対応に関する主なご意見（案）

- ・ 超過洪水対策は河道だけの対応では限界があり、伝統的な構造物なども含め、流域として対策していくことが求められる。
- ・ 現状を上回る洪水でも、ある程度の被害は許容しつつも壊滅的被害は防ぐといった防災から減災へということが今後の課題。
- ・ 河川管理や超過洪水等の議論に当たっては、道路や都市などの施策間の全体的なつながりを考えながら進めるべき。
- ・ もう少し広がりを持った技術政策を考える仕組みを水管理・国土保全局の中で検討すべき。